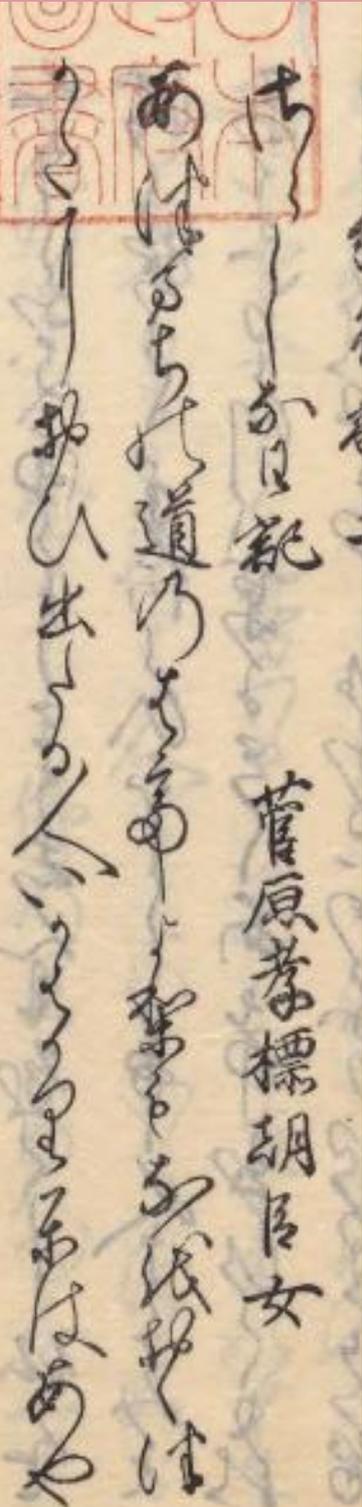


ファイアラ先生の

古典文学
ゼミナール

『更級日記』を讀む



「群書類従」(国立公文書館蔵)

講師 カレル・フィアラ(福井県文書館古典文学顧問)

『更級日記』は、平安中期に書かれた、女流日記文学の傑作です。作者である菅原孝標の女は、幼い時の父との帰京、『源氏物語』との出会い、結婚生活や夫との悲しい別れ等を書き記しています。また、晩年彼女は、日常よりもロマンチックな世界に浸りがちで、現実の生活を十分生きてこなかったことを内省しています。講座では、作品の内容と背景について説明します。

- 1 平成29年 10月21日 | 土 | 13:30~15:00
- 2 平成29年 11月25日 | 土 | 13:30~15:00
- 3 平成29年 12月16日 | 土 | 13:30~15:00
- 4 平成30年 1月20日 | 土 | 13:30~15:00
- 5 平成30年 2月17日 | 土 | 13:30~15:00
- 6 平成30年 3月17日 | 土 | 13:30~15:00

会場は、すべて福井県文書館研修室

- *各定員 40 名。電話、Fax、メール等で事前に申し込んでください。
- *『更級日記 現代語訳付き』
原岡文字訳注(角川ソフィア文庫)
(ISBN978-4-04-373401-6)
を用意して、受講してください。
(受講無料)

